



球技大会



福祉式



文化展



稲刈り



芸術鑑賞会



イメージンセミナー



令和4年12月
第141号
南砺福野高等学校PTA
印刷 牧印刷株式会社

1年間のPTA活動を振り返って

PTA会長 横山 征典



日頃より皆様には本校のPTA活動にご理解、ご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。月日が経つのも早かったです。令和4年も残すところわずかとなりました。現在も第8波といわれる新型コロナウイルス感染が拡大しており、何かと皆様も苦労されながら日々送られていることと思います。

本年のPTA活動も残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響を受け、以前の様な活動を十分に行う事は出来ませんでした。しかしながら、感染対策を徹底しながらにはありますが各種行事が行われた年でもありました。

私も砺波地区、富山県、全国のPTA関連の各行事に参加させていただく事が出来ました。特に8月の全国大会については隣の石川県での開催という事もあり2日間の参加させていただきました。また、副会長をはじめ委員の皆様には多大なご協力を頂き講演会をはじめ各種行事を開催いただきました。本当にありがとうございました。生徒たちも感染症対策を行いながらにはなりましたが、勉強・部活動をはじめ体育大会や文化展などの各行事も以前よりは自由に活動出来ていたのかなと感じております。

常に成長すること



南砺福野高等学校PTAの皆様には、日頃より本校生徒のために諸活動の推進にご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

今年も残り少なくなってきましたが、昨年に引き続きコロナに振り回されている感のある一年でした。まだまだ感染拡大は収まりそうもなく、コロナウィルスに対して正しい知識を理解したうえで、併存しながら生活していく覚悟をしなければならぬようです。学校行事は、生徒会を中心に工夫を重ねて体育大会や文化展、校歌応援歌練習、壮行会等を開催することができ、以前と全く同じとはいえないものの段々と活気が戻ってきました。

一年という月日の長さは、人によっていろいろ感じ方が違ってきます。高校生にとっては、学業や部活動などの学校活動、家族や友人との人間関係において様々な経験を通して成長を遂げることで十分な時間です。失敗したり壁に突きあたったり、また、自分の思うとおりに物事が進まなかったりなどの紆余曲

す。特に部活動では今年も輝かしい成績を残してくれておりますし、非常に前向きに高校生活を送っている姿は頼もしく感じました。

個人的には今年4月より成人年齢が18歳に引き下がった事について、保護者として家庭でも子供と一緒に考え、話し合う事が非常に大切になると感じた1年でした。18歳という事で高校3年生が対象にはなるのですが、それまでの準備期間・心構えとしても各家庭で早い時期より18歳成人という事について話し合い理解を深めておくことが非常に大切だと思います。特に、保護者の同意なく出来る各種契約に潜むリスクについては、まずは私達保護者がしっかりと理解する事が大切だと感じています。

Withコロナという事で、ようやく日常が戻りつつあります。新しい生活様式も確立されつつあります。来年はますますこの様な動きが加速していくものと思われまします。今年度も残り少なくなりましたが、今後とも子供たちが充実した学校生活を送れるように、また新しい時代に向けて成長出来るようにPTA活動を行ってまいりますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

副校長 松代 浩二

折を経て、心身ともに鍛えられ大人へと成長していく。(すでに進学先や就職先の決まっている3年生も含め)多くの生徒が将来の自分の姿をまだ明確には描ききれないと思われまします。思い悩み苦しみがあっても、自分の中から少しずつ未来への希望が芽生えはじめ、今後生きていく上での軸となるものを確立していくことができるよう願っています。

保護者と教職員からなるPTAは、彼らの成長を願いながら指導助言者として、また、人生の先輩として支援していく立場となります。しかし、私たち自身も学ぶという精神を失わず日頃から真摯に己を省み努力を積み重ね、みずからの成長を感じて生活していくことが大切だと思われまします。また、その姿を見せていくことが彼ら高校生にとって明日への道しるべの一つとなるはずで、年末にこの一年頑張ってきたことを見つめ、成長の度合いを確かめるとともに自分自身を労い、さらに新しい目標となる志を立てる。「来年また成長した自分に出会えるように」そう思って、この年の瀬を過ごしたいと思えます。



特集

食堂の活性化について

南砺福野高校には食堂があります。生徒数の減少などで経営難から撤退して食堂がなくなった学校が増えています。本校の食堂もコロナ禍や食材費の値上がりなどの影響で経営は決して楽ではありません。食堂を維持してもらうために、何かアイデアはないだろうか？総務委員会では、まず現状把握のためのアンケートを実施しました。

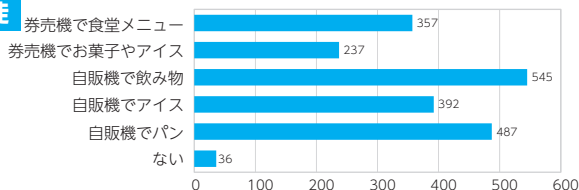
全校生徒のうち669名からオンラインアンケートで回答を得ました。67名の教員からも回答を得て、その結果をまとめました。また、アンケート結果を基に11月21日(月)に総務委員会の役員と学校側から事務部長と担当教員で座談会を実施し、食堂の活性化について検討しました。

食堂に関するアンケート結果(生徒、教員)

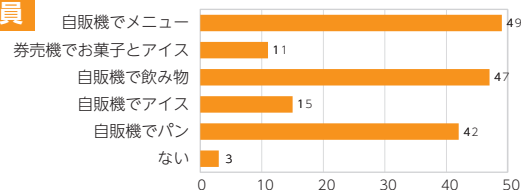
全員に聞きます

Q1 食堂で買ったことがあるものは何ですか？(複数回答可)

生徒



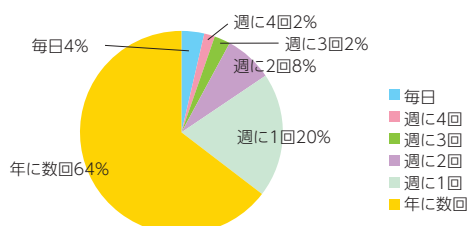
教員



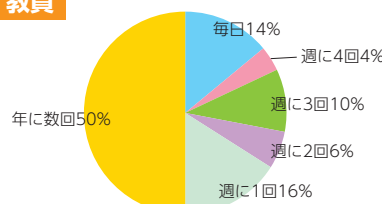
券売機を利用したことがある人に聞きます

Q2 食堂メニューの利用頻度は？(テイクアウトを含む)

生徒

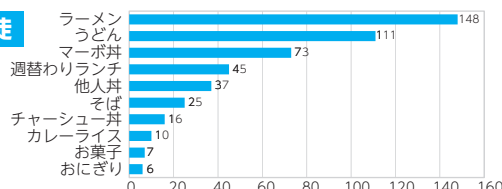


教員

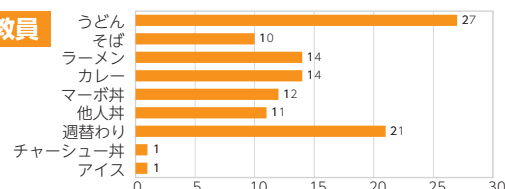


Q3 食堂でよく注文するメニューは何ですか？

生徒

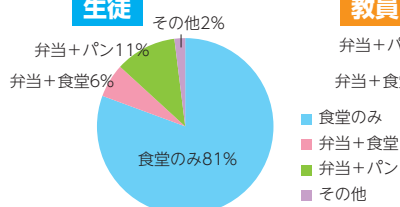


教員

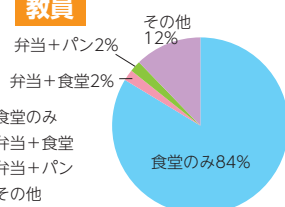


Q4 食堂利用時のパターンはどれが多いですか？

生徒



教員



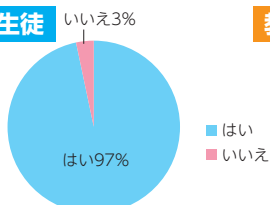
Q6 週替わりランチの魅力は何ですか？(抜粋)

生徒

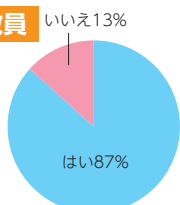
- ・いつも買えるメニューと違うから新鮮
- ・ちょっと豪華
- ・バランスの良い食事ができること
- ・今週は何かと、楽しみにする。
- ・ワクワクして食堂に行けること
- ・価格の割にボリュームがあっていい
- ・買ったことはないけど毎週楽しみ

Q5 券売機になって便利になったと思いますか？

生徒



教員

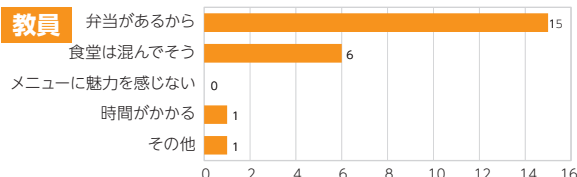
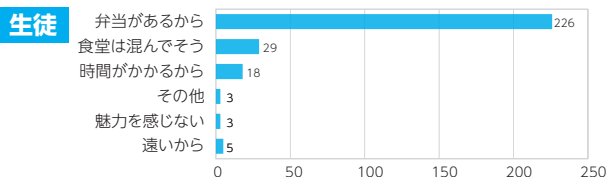


教員

- ・今週は何だろうと楽しみにすること
- ・多彩なメニューが楽しめること
- ・バランスが良い、汁物が付くのも魅力
- ・メニューに変化があって嬉しい
- ・調理員さんの努力が感じられる
- ・生徒との話題にもなり、感想交換している。
- ・ワンコイン！

券売機を利用したことがない人に聞きます

Q7 食堂を利用していない理由は何ですか？



全員に聞きます

Q8 今後どんなメニューを取り入れて欲しいですか？(抜粋)

生徒 オムライス、パスタ、ハンバーグ
唐揚げ、カツ丼、から揚げ丼、牛丼
焼きそば、ハンバーガー、肉まん
デザート、チャーハン、サラダ、など

教員 サラダ、ハムカツ、アメリカンドック
肉まん、コロッケ、サンドイッチ
カツ丼、チキンフライ、スイーツ
野菜が多めのランチ、焼きそば、など

Q9 食堂について思うことを自由に書いてください。(抜粋)

生徒

- ・食堂のある高校があまりないのでとてもいいと思う。
- ・これから寒くなるので暖かいものを食べたいときに便利だと思います。
- ・テレビがあって、雰囲気がいいと思う。
- ・とても便利だし、おいしい。放課後の一時間くらいも販売してほしい。
- ・教室から遠いのであまり行く気にはならない。
- ・揚げ物系、カツサンドをもう一度販売してほしいです。
- ・混んでいていきづらく感じます。
- ・座席が少なく利用しにくい。
- ・持ち帰りを前の時みたいに捨てられる容器にしてほしい。
- ・週替わりランチが食べたくてもすぐに売り切れてしまう。
- ・職員さんたちが明るく話しかけてくれるのでとても楽しい気分で食堂に行ける。

教員

- ・農業科の野菜を利用したメニューがあるといい。食堂はぜひ継続してほしい。
- ・ランチの販売個数を増やして欲しい。
- ・いつもおいしい温かいご飯をありがとうございます。
- ・食堂のみなさんに元気で明るく対応していただき、おいしさと元気をもらっています。
- ・午前中の授業の合間に販売するメニューを開発し、利用率をアップする
- ・弁当の予約販売をスマホを利用した利便性の高いものにできないか。
- ・新メニューに挑戦されていて素晴らしい。
- ・クーポン、期間限定で大盛無料などがあるとさらに楽しみになる。
- ・可能なら13時過ぎても営業してもらえたら嬉しい。
- ・あったかいものを食べることができて助かります。店員さんも優しい方ばかりです。
- ・コロッケ販売を復活してください。



食堂の職員さんへのインタビュー

Q1 週替わりランチを考案したのは誰ですか？

事務部長さんからランチの提案をいただいた。食材のロスを防ぐために週替わりにした。

Q2 週替わりランチの売れ行きはどれくらいですか？

予約で完売する場合もある。人気のメニューは限定数を増やすことがある。

Q3 今後、どのような食堂にしたいですか？

みなさんの憩いの場になればと努めている。
気軽に来てもらえるように、私たちがどんなことができるかを日々考えています。

Q4 南砺福野高校生に一言お願いします。

生徒のみなさんは礼儀正しく、マナーもとても良く素晴らしいと感じています。
食器を返す時には、「ごちそうさまでした」「ありがとうございます」と声をかけてくれることがとても嬉しく、私たちへのエネルギーになっています。



総務委員会座談会

「食堂の 活性化」



◎まず今年度、本校の食堂に券売機が導入された経緯と今後の見通しについて橋本事務部長に伺いました。



橋本事務部長

現在、県立高校35校中15校で食堂を運営しているが、生徒数減が影響し経営難から減少の一途である。多くは弁当会社の委託販売で、学校側の支援でかろうじて維持している。本校の食堂は、OBの花鳥精肉店さんのご厚意で経営を継続しているが、やはり経営は厳しく、経営安定のための策を講じる必要があった。今までは2人の職員さんのうち、1人が会計業務に追われ、待ち時間が長く効率が悪かった。券売機の導入により、時間にゆとりが生まれ、週替わりランチの導入や予約テイクアウトが可となり利便性が上がっている。今後は「食堂パワーアップ」としてエアコンの導入で会議室としての機能を持たせたり、スマートフォンによるオンライン予約なども検討している。

◎総務委員の方々から、お子さんの昼食についての現状やご意見を伺いました。

Aさん：食堂で暖かいものが食べられるのはいいと思う。うちの子は弁当派で保温水筒にスープを入れて持たせている。

Bさん：うちの子はほぼ毎日食堂を利用しており、たいへん助かっている。なんとか継続してほしい。

Cさん：運動部で弁当だけでは不足、ミニラーメンなどを追加しているようだ。

Dさん：私自身はもっと食堂を利用してほしいと思っているが、1年生のときは行きづらく感じていたようだ。2年生になって、週1で友達と食堂に行くと決めて先日も、からあげ丼がおいしかったと言っていました。

Eさん：弁当が作れない日はお金を渡しているが、もったいないと感じてかパンを買っていることが多いようだ。

Fさん：ときどき500円くれと言って食堂に入っている。友達と行ってお菓子などを買って楽しんでいるようだ。

Gさん：たまに食堂を利用しているが、ほぼ弁当。

Hさん：1年生は食堂が使えないと思っているのか行っていないようだ。今後できれば、週1、2回で使わせたい。

Jさん：コロナ過で、食堂の座席数が少なく、同じ方向で座って食べているのも、利用者が増えない要因ではないか。

Kさん：食堂では主にアイス、お菓子、パン、おにぎりなどを買っているようだ。

Ｌさん：週に一度は弁当OFFの日を作って、食堂を利用させている。家までの帰り道にコンビニなどが無いので、食堂にパンやアイスなどがあり助かっている。



◎食堂をもっと利用したくなる方策について意見交換しました。

Mさん：とにかく安くてお腹がいっぱいになるメニューがあるとよい。

事務長：プラス50円で「大盛り」プラス100円で「特盛り」にできます。

Mさん：カレーのルーなども多めをお願いします。

Kさん：サイドメニューをもっと増やしてほしい。

Nさん：インスタント食品用のポットを置いてはどうか。

事務長：コンビ二用の電子レンジを購入して時短の工夫を考えている。

Bさん：弁当販売の話は進んでいるのか。

事務長：スマホ予約でのシステムを導入している事例はあるが、弁当納入業者の選定も含めて課題もあり検討中である。昼食時間は限られているので、一般の方も利用しやすい食堂にして収益を上げることも検討している。



◎総務委員長より



役員の皆さんから、弁当派と食堂派の意見をお聞きすることができました。印象的だったのは、弁当派が圧倒的に多かったということです。手抜きで食堂を利用するといったことはなく、運動部で弁当だけでは足りない生徒が、足りない分として食堂を利用する場合や、勤務形態により時間がない家庭が利用するといった時代背景があることを知る機会となりました。

欠かさず必要な食事ですので、県内では数少ない直営食堂が今後も続けていきたいと思います。本校OBの献身的な営業努力もあるなかで、エアコンの整備をすることで、より一層活用できる食堂に期待しています。

総務委員長 松井

豊嶋社長のプロフィール

1993年4月	松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)入社 テレビ本部 テレビ事業部に配属
2013年4月	パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 パナソニックAVCネットワークスインド(株)社長 (2013年4月～2017年3月 インドにて勤務)
2017年4月	同社 アプライアンス社 ランドリークリーナー事業部 トワレ電気暖房事業 総括担当
2019年4月	同社 アプライアンス社 スマートライフネットワーク事業部 ビジュアル・サウンドビジネスユニット ビジネスユニット長
2019年12月	同社 アプライアンス社 常務
2020年4月	同社 アプライアンス社 副社長 スマートライフネットワーク事業部 事業部長
2022年4月	パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 社長執行役員 チーフ・エグゼクティブ・オフィサー(CEO)

11月26日(土)本校東雲ホールにて、パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社代表取締役社長の豊嶋明氏に「考え方を換えれば人生そのもの変わる」という演題でご講演いただきました。

考え方を換えれば人生そのもの変わる

PTA研修会

厚生部活動委員長 文田 幸平

私の子育てで心掛けているのは子どもたちが社会に出るまでにどれだけの経験値を増やしてあげることができるか!ということです。

人生は一度きり。

過去を後悔してやり直すことはできなくて、その時、その瞬間、絶え間なくやってくる判断が人生を左右していくと考えています。

そして、その時、その瞬間の判断は、それまでに経験してきた様々な失敗や経験の中から生まれてくるものであり、真剣に取組んだことで納得した人生を歩めると考えています。

真剣に取組んだ失敗には価値があり、日本の企業はそんな人材を求めていると豊嶋氏は言いました。

私が想像もつかないくらい様々な立場の人、人種、数多くの上司や部下などと接してきた豊嶋氏の話には説得力があり、毎年、地元大阪の忘年会で会う豊嶋氏とは全くの別人でした。

今回の研修会を主催させてもらったことで改めて人との出逢いの大切さと面白さを感じました。

わざわざご家族で大阪から来県され素晴らしい講演をしていただいた豊嶋様、お忙しい中研修会に参加された皆様、私の勝手な人選を許可していただいた先生方、寒

い中受付や誘導員をしていただいた委員会の皆様、そんな皆様と同じ時間を共有できたことにとても感謝しています。

最後に

研修会1時間前、私の車の助手席に座っている豊嶋氏に何気なく「普段から講演会みたいな形で人前でお話されているんですか?」と質問してみました。

豊嶋氏は「たくさんさんの依頼はあるけれど全部断っているんだよね、今のところ福野高校だけだよ」とさらり。

豊嶋さん、ありがとうございます!

厚生部活動委員 山田竜太郎

あつという間の60分間でした。興味津々な内容であり、時の経つのも忘れて聞き入ったのは私だけではなかっただろうと思います。

入社してから自身の経験をもとに感じたこと、伸びる人の共通性、高校生へのアドバイスの内容でしたが、共感できることが多々あり私へのアドバイスかと思ってしまう。

人の好きそうなおっちゃんから次々繰り出されるフレーズ。心に残ったのは「成功よりも失敗から学ぶ」、「学ぶ心さえあれば、万物すべてこれ我が師である」

豊嶋さんも仰っていたが、10代や20代のうちにやってみたいことや興味があることに失敗を恐れずたくさんチャレンジしてほしい。チャレンジすること自体が成功するための第一歩でもある。出来るのであれば誰もが失敗したくないだろう。しかし、若いときであれば失敗してもいくらでもやり直すことができる。大事なものは失敗した

で終えず、失敗から学びとしてとらえることができるか。自分の考え方や取り組み方がそれで良かったのか振り返ってみることが大切である。どんなことから素直に学びたいと思う。

厚生部活動委員 河合 功治

今回「考え方を換えれば人生そのもの変わる」というテーマで豊嶋先生に講演いただき、先生ご自身が仕事を通して肌で感じたことや経験したことを基に、「伸びる人」に共通していることをお話いただきました。具体的には、①常に明るく前向きであること②課題から逃げずに向き合うこと③目先のことにとらわれず、本質を見ようとしていること④「学びのスピード」が早いこと⑤失敗を恐れず、むしろ、成功よりも失敗から学ぶことです。

講演の中で特に印象に残ったのは、②課題から逃げずに向き合える人になるため、子供には、居心地の悪い環境も含めて新しい環境をどんどん経験させることや「成功」ではなく「成長」を褒めることが大切だということです。

今後は、今回の講演で得た知識を活かし、子供たちの成功はもちろんですが失敗に対しても、チャレンジした勇気を称え共に成長していきたいと思っております。今回は、大変有意義な講演をしていただきありがとうございます。

大手企業の社長が講師の講演：堅苦しい話かと思いきや朗らかな笑顔の朗らかな話し方で会場をひとつにし、アツと言う間に時間が過ぎ一言一言が心にしみました。

厚生部活動委員 富田 祐子

講師の豊嶋さん本人は、人の上に立つ人間ではなかったと言っておられましたが、こだわりのないポジティブ思考で建前ではなく、本音で接し信頼関係を築き周囲の人

も自然と心地よいのでトップにふさわしいのではと感じました。職場で予想外の問題が発生した時などプレッシャーがある状態でも前向きに取り組み、たとえ思うような結果にならなくても一つの経験として捉え、「次はうまくいく」とプラスに：失敗を恐れずむしろ成功よりも失敗から学ぶと。そこから逃げてしまいがちですが、納得です。今、我が子に進路について聞くと「分かん」と返ってきます。私も高校の時を思い出すと何も考えていませんでした。豊嶋さんにも聞いてみたら「自分も何も考えずに高校生活をただ楽しんでた」と：なら大丈夫かと安心し、子どものこれからを見守ろうと思いました。



進路懇談会に参加して

1年普通科 重原美代子

新課程1年目の学年ということもあり保護者の参加は非常に多く、関心の高さを伺えました。令和5年度入試から新しく「情報」が加わり、一般入試であっても「調査書」が大切になり、「思考力・判断力・表現力」が重視されることがわかりました。また、外部模試の結果が入学時より「数学の低得点者が減少・英語の高得点者が増加」という嬉しい報告もありました。目前の文理選択から始まり、これからの進学・就職に向けての学校からの指導に感謝すると共に、家庭でも子どもへのサポートをしつかりとしていきたいと思いました。



1年国際科 福島真由美

国際科の進路懇談会では進路希望や学力など、資料を見ながら学年の現状の説明があり、焦りを感じました。これから大きく変わる社会状況の中で、2年次への選択科目と大学への進路について関心を持つて聞き入りました。

文理選択ではこれからの進路へのとても大事な選択になると感じました。職業の機械化が進んでいく時代になると聞き、これからの子供たちは何をすればいいのか考えさせられました。1年生では基礎を固め、2年生では発展をし、3年生では完成をし、視野を広げ高みを目指して進路を決めてほしいと思いました。

懇談会に参加して入試に向けて計画的な準備が大事になってくることを痛感し、これから

ら多くのことを自分で選択していかねければならない子供たちに対して、家庭でどのようなサポートしていくかを家族の課題としていたいと思います。

1年農業環境科 土合 正融

子供達の視野を広げるために早期から様々な情報を伝え、選択肢を準備してあげる事。そして少しでも興味を持ったものに対しては試してみよう機会を与えてあげることが大切。

目まぐるしく変化し続ける現代は、情報が溢れたネットや偏向報道の多いテレビの影響の為、真実や自分の目的を探す事が難しく子供達に伝える情報選択も慎重になってきます。そんな不安定な社会の中でも真田先生の生徒に対する真剣な想いを聞き、日頃の学校生活や行事の様子を動画や写真、日誌等を見て、人と人とのつながりを大切にしている事を感じられました。社会人に向けて大事な高校3年間で誰かに任せるのではなく、先生方に助言をいただきながら、子供と会話をする時間を多く作り一緒に成長していきたいと思いました。

1年福祉科 百島 孝紀

福祉科の進路懇談会では、まず学校での活動や授業の様子を写真や動画で紹介していただき、楽しく学んでいる姿を見ることができました。

次に進路の話がありました。娘は進路について悩んでおり、不安に思うこともありましたが、他のお子さんにも進路に悩んでいるということを知り、少し安心しました。学年主任の先生や担任の先生



から、今は学校生活、活動を通じて多くの事を学ぶことでたくさんの方を知り、様々な選択肢を持つて欲しいと伺い、共感を持ちました。今後たくさんの方の活動に参加することで、そこから様々な知識を得て、次のステップに進んで欲しいです。これからも娘とたくさん話し合いサポートしていきたいです。

2年普通科 佐藤 知子

少しは落ち着いてきたコロナもまだまだ収束しない中、進路懇談会が行われました。受付の担当でしたが、たくさんの方の保護者の方々が参加され、熱心に聞いておられました。



教室内でのリモート放送を通して、各テーマの説明がありました。生徒の実態を学習時間から想像し、様々な入試制度があることも理解しました。そして気をつけなければならないのが、3年次の選択科目で、間違えてしまうと受験できなくなる学部があるということでした。進路をおおよそ決め、大学や学部を絞っておくことが大事になります。多少の変更も想定しておかなければなりません。

そして、本校の進路状況の説明もありました。昨年度は希望した大学に入学できた人数が多く、最後まで諦めずに高い志を持って勉強していたそうです。親の方から背中を押してあげられるサポートが大事だと思います。

コロナ禍で、世の中の動きがますます早くなり、情報の量も何倍にも膨れ上がっています。足元を見ることを忘れずに過ごしてほしいと思います。毎日の生活が遠い将来に必ず続いているのですから、遠回りしたり立ち止まったりといういろいろあると思いますが、自

分の道を歩んでくれることを願っています。

2年国際科 吉澤 泰樹

当日は、進路を見据えた指導方針や科目選択、大学進学に関する諸情報等に關し、先生方から丁寧に説明を頂きました。今のうちから、子供との対話を重ね、進路志望を具体化していくほか、志望大学の入試情報を積極的に収集するなど、早めに目標に向かって準備を進める重要性を改めて認識させられました。

今後の高校生活においては、本人も進路への迷いや不安を感じることもあると思いますが、将来を見据えた充実した高校生活を送れるよう、親として寄り添い、支えていきたいです。

また、海外研修旅行の中止は大変残念ですが、生徒にとって有意義な経験となる代替案を期待しております。

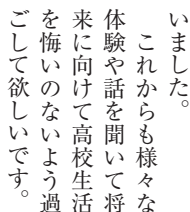
2年農業環境科 安居 研修

進路懇談会では、最初にインターンシップ等の活動報告や農業クラブ全国大会の日程をご説明いただきました。次に建設業協会の方々を講師に迎え建設業の現状等を聞かせていただきました。また、同校卒業生で地元建設会社社に就職されたお二人にきっかけや魅力、目標についてご説明いただきました。

自分も建設業界の現状を聞く事はありますが、やはり高齢化業界になっていく事や、男性社会、休みが少ないといったイメージを持っている方が多いように思います。

今回の講習会のお話を聞いて、かなり現場環境も改善されて女性の進出増加や、週休二日制モデル工場の推進な





どの取り組みが率先されていることがわかりました。

建設業は施設の維持管理や電気・水道といったライフラインの整備、道路整備など、この先も自分たちの暮らしには絶対必要とされる業界だと思っています。

建設業界に限らず、様々な業界で環境改善の取組が行われていると思います。

進学される方も就職される方もこの先進路を決めるにあたって、イメージだけで決めるのではなくいろんな方向から目を向けて進路を決めてほしいと思いました。

2年福祉科 藤本 千佳

最初に講話を卒業生である堀田さんのお話を聞かせていただきました。卒業後就職された方で進路に迷っている娘にアドバイスしやすい講話でした。就職先での給与や勤務形態、そして進路に迷った際保護者に相談した話や就職してよかったことなどを話していたとなりました。娘と帰って話し合いのきっかけとなりました。お忙しい時間を縫っていただいたきとても有意義な時間を過ごさせていただきました。

学科別懇談会では、今の進路状況や研修旅行、科目選択等のお話をしていただきました。パワーポイントを用いての説明でとてもわかりやすかったです。二年次になり昨年よりも将来に向けて現実的に考えている生徒も

令和4年4月から令和4年11月30日まで

[illegible]

[illegible]

今年度の各委員会の活動報告

厚生部活動委員会

- ・PTA研修会に向けての係決め
- ・PTA研修会当日の運営



学級委員会

- ・学年懇談会の受付係、駐車場係、記録係の仕事



総務委員会

- ・PTA会報「いわお」の特集ページ作成に向けての委員会



生徒生活指導委員会

- ・ 7月、9月、10月、11月 定例交通指導
- ・ 10月あいさつ運動（委員長、副委員長）



PTA役員を引き受けてくださった方々、ご協力ありがとうございました。